

かみくげ 恐竜の里新聞

平成二年七月二五日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第15号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001活動拠点施設落成式と
化石発見3周年記念行事
同時開催されました

◆拠点施設落成式◆

恐竜の里駐車場で建設中の販売活動拠点施設の落成式が7月19日、丹波市長、石川県会議員、三輪丹波県民局副局長らを招いて開かれました。

この施設は丹波市から補助を受け、一部地元が負担して、ボランティア活動によって完成しました。昨年12月、太田山(慧日寺)から間伐材を譲り受け、製材をし、4月に着工。6月29日の棟上げ式から7月19日の落成式までの20日間に延べ80人のボランティアが終日炎天下で作業して仕上げました。丹波竜化石発見現場に近い駐車場の一角にあります。

施設が完成して発掘現場見学者に地元農野菜や恐竜関連グッズ、一般商品の販売が可能となるため、地元への経済的効果が期待されています。また、丹波市では今夏までに駐車場内にトイレを設置し、発電所改修工事の11月完成を含め、周辺一帯の整備を急いでいます。

自治協議会ではこの施設を「元気村かみくげ」とし、地域外に「かみくげ」ブ



ランドを広くPRしていくことを考えています。当面は客足が期待できる土曜・日曜を中心に様子をみて開店します。自治協議会会長の柳川瀬義輝さんは「施設ができて、それをうまく運営していくことが大事。農野菜の販売は生産者の努力がなければならぬし、発掘現場見学者へのまごころもつた接待も必要。地域のパワーをひとつにして施設を有効に活用していきたい」と話しています。

◆施設内販売所オープン◆

拠点施設内は地元農野菜・加工品販売所、焼きそば・お好み焼きなどができる食の加工所、地域物産品販売所と多目的ルームに分かれ、イベントの初日・2日目に農野菜グループのメンバーによる野菜販売が実施されました。食の加工所ではボランティアによる焼きそばの販売、また、隣の物産品販売所では恐竜関連グッズなどの商品をそろえて販売しました。

ボランティアの焼きそばもほぼ完売し、丹波竜のちーたん携帯ストラップなどにも人気が集まりました。

かみくげ野菜づくりグループのメンバー西田幸男さんは「地元の豊富で、新鮮な農野菜をグループの皆さんから出品してもらい、多くの来訪者に立ち寄って買ってもらいたい。そのためには、まず施設の存在を積極的にPRしていきたい。また、地域内のみならず、是非ご利用いただきたい」と話していました。



◆化石発掘体験◆

した特設テントには、「かみくげホームページ」を見て申し込んだ阪神間からの体験希望者はじめ、地元の子どもたちも参加して、丹波竜化石含岩層の小石の中から、恐竜の骨のかけらや歯や小動物の化石さがしに夢中になっていました。

イベントの中で最も人気のあった化石発掘体験コースでは、子どもたちや親子づれが打ちならすハンマーの音が響き、化石らしきものを見つけては指導員に判定してもらったりして終日にぎわっていました。

大阪・吹田市から参加した小学生男児は「丹波竜の見つかったすぐそばで化石さがしができてよかった。本物の化石は見つからなかったけど、植物の化石が見つかったよかった。また、やってみたい」と話していました。また、2日間発掘体験を指導した友井幹夫さんは「やっぱり恐竜ですね。遠くからでもインターネット見て訪ねてくれる。うれしいことですね。地元の人をもっと参加してくれたらよかったと思う」と振り返っていました。



◆カヌー体験◆

上久下小学校まえの篠山川では、三田市のカヌースクールから10艇のカヌーと共に3人の公認指導員を招き、カヌー・カヤックの体験教室が開かれました。参加者たちは上久下橋下から乗船し、広田のつり橋までの往復を、周囲の景観を楽しみながら隊列をなして川面をすべるようにパドルを漕いでいました。

西宮から参加した小学生は「池ではカヌーに乗ったことがあるけど、川では初めて。風景が色々かわるし、乗っていて気持ちよかったです。予定の時間がきたけど、もっと乗っておきたかった。また来たいです」と話していました。

初日(19日)夜の大雨によって、翌日のカヌー体験は出来なくなり、期待していた参加希望者は残念がっていました。来年もこんな企画があれば是非参加したいと話していました。

自治協議会では初めてのカヌー体験

が「かみくげ」を売り込むひとつのツール(道具)となったことに自信を持ち、これから子どもを対象にして定期的に開いてゆく計画です。



◆ぶらぶらウォーキング◆

悪天候の天気予報でキャンセルも多く、実施が危ぶまれましたが、急きょ、自治協議会役員や観光協会、県民局らのメンバー13人が参加して、この体験コースの一部、太田・慧日寺での精進料理、座禅の作法などを体験しました。

広い寺の本殿では般若心経の合唱に続いて座禅を体験。つづいて別室に用意された食事を寺の作法に添ってゆっくり時間をかけて賞味していました。

この体験に参加した女性の一人は「座禅も初めて、精進料理も初めての経験。こんな近くのお寺で静かで、ゆったりとしたひとときを過ごさせてもらっている経験になった」と感想を話していました。

ちーたん金塊像が市議会で否決

国の緊急経済対策の交付金を財源に、丹波市が丹波竜のキャラクター「ちーたん」を金製像にして、観光客を呼び込むとした予算案が、市会の常任委員会でも反対、否決されました。金塊像制作費は1億2500万円で、盗難保険などを入れると事業費総額1億3700万円かかり、多額の出費に見合う経済効果を一

般市民が疑問視したためです。否決されたこれら事業費は「恐竜を活かしたまちづくり」に使うと市長が約束したことで、上久下自治協議会ではこの事業費の一部でも化石発見の地元の活性化に使うべきと今後市当局と折衝を始めます。

部分日食観察会開かれる
上久下小学校

日本では46年ぶりの皆既日食が見られることになった22日午前、上久下小学校では児童100人が父兄20人を交えて80%まで太陽が隠れる、部分日食を観察しました。

山南星空観察会事務局の森田和志さん(下滝)の指導で、校庭に集まった児童らはそれぞれに専用の日食観察メガネをかけて、太陽が徐々に「月にのまれている」様子を観察しました。幸いに雲間から顔を出した太陽をメガネ越しに観察し、太陽が小さくなるにつれ、周囲も暗くなっていく天体ショーに歓声が上っていました。

地域づくりセンターの
一斉清掃を行いました

7月11日、毎年の行事となった、上久下老社会と自治会役員ら40人による地域づくりセンター周辺の一斉草刈りと庭木の剪定が行われました。

今年も暑い中、約3時間汗にまみれて奮闘されました。出役されましたみなさん、大変お疲れ様でした。



8月の予定

◆8月5・6日 夏休み恐竜化石発掘体験合宿ツアー 地域づくりセンター

◆8月8日(土) 里づくり協議会 午後8時より 地域づくりセンター